



防災対策 情報便

発行日	平成 30 年 1 月 31 日
発行元	災 害 対 策 課
所属長	課 長 大石 照男
電 話	06 - 6489 - 6165

1 「1.17は忘れない」地域防災訓練を実施しました。

平成 30 年 1 月 17 日（水）午後 1 時 20 分から、園田地区の上坂部小学校をメイン会場に、中央地区は難波の梅小学校、小田地区は浜小学校、大庄地区は大島小学校、立花地区は七松小学校、武庫地区は武庫庄小学校を地区会場として「1.17は忘れない」地域防災訓練を実施しました。

この訓練は、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、市民一人ひとりが大震災を忘れず、将来の災害への備えの充実を図り、「ひょうご安全の日」である 1 月 17 日を中心として 1 月中の減災月間に地震災害をはじめとした危機管理事象への対応の向上を図るため、地域等における自主防災組織、社会福祉協議会などの地域住民と学校が連携した防災訓練を実施しているものです。

また、市内のスマートフォンや携帯電話に対してエリアメール（緊急速報メール）を配信し、災害発生時の初期行動を考えてもらうための「きっかけ」作りを行い、市民の自助意識の高揚を図りました。

さらに今年度は、弾道ミサイル発射が相次いでいる状況を踏まえ、落下する可能性がある場合の避難行動等を確認する必要があることから、弾道ミサイルを想定した訓練を併せて実施しました。

あいにくの雨天のため、メイン会場の上坂部小学校では、一部の訓練を変更して実施しました。

(1) 弾道ミサイル避難行動確認訓練

身を守るための避難行動として、地震が発生したときの身を守る行動と類似している訓練（机の下に隠れて頭を守る等）を実施

(2) 避難誘導訓練

要配慮者の避難誘導・避難支援訓練も含め、校舎の 3 階以上へ避難する垂直避難訓練を実施

(3) 避難所開設・運営訓練

体育館において、避難所の開設及び運営の訓練を実施

避難者の受け入れ、学校の被害状況の報告、避難所運営会議、避難所レイアウト、避難者名簿の紹介、要配慮者への対応についての訓練を実施後、体験ブースとして設けた 福祉スペースの作成体験（段ボールベッド、畳室の作成） 居住スペースの作成体験（パーティション、簡易トイレの作成） 特設公衆電話を用いた災害伝言ダイヤル体験、備蓄品の展示等の各ブースを参加者の皆様に体験していただきました。

メイン会場以外の各会場にも、地域の自主防災会の皆様を中心に、積極的に訓練にご参加をいただき、ありがとうございました。



避難誘導訓練



災害ビデオ視聴



垂直避難訓練



学校の被害状況報告訓練



避難所運営会議訓練



段ボールベッド組立体験



パーティションの作成体験



畳室の作成体験



災害伝言ダイヤル体験

2 武庫南小学校で耐震性緊急貯水槽設置工事の現場見学会が行われました。

平成30年1月27日(土)午前10時から武庫南小学校敷地内において、耐震性緊急貯水槽設置工事の現場見学会が行われました。

現場見学会では、概要説明や貯水槽の実物(直径2.6mの巨大な水道管)を実際に見ていただくことによりスケールの大きさを体感していただきました。

耐震性緊急貯水槽とは、地震発生時に水道管が壊れて水が出なくなった際に、貯水槽内の水を飲料水として供給できるもので、武庫南小学校には約1万人に1人1日3ℓを3日間給水できる大きさの物を設置しています(容量100m³)。

また、普段は水道管の一部であるため、常に綺麗な水が循環しています。

耐震性緊急貯水槽についての詳細は、ウォーターニュースあまがさき第70号をご覧ください。

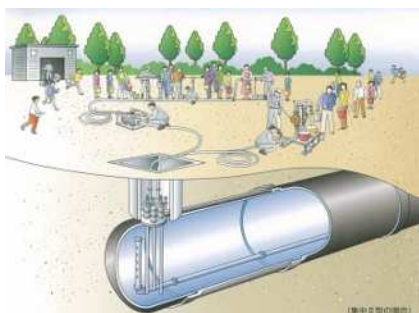
なお、耐震性緊急貯水槽は、防災センター、北部防災センター、潮江緑遊公園、尼崎北小学校、常陽中学校、大島小学校に続き7基目の設置です。

当日は雪の舞う寒いなか、見学会にお越しくくださった皆様、ありがとうございました。

なお、見学会の様子は、ケーブルテレビで、2月13日（火）から19日（月）の11時、14時30分、20時30分、22時からの「ベイコム地元ニュース」で放送されるほか、番組HPでも紹介されます。

ウォーターニュースあまがさき第70号 <http://amasui.org/koho/347/816/001487.html>

番組HPアドレス <http://baycom.jp/service/cable.tv/community/channel/?id=4>



耐震性緊急貯水槽のイメージ



直径2.6mの貯水槽の帽（蓋）



貯水槽の本体



貯水槽の本体



見学者の皆さんへの説明



貯水槽を覗きこむ見学者の皆さん

3 熊本地震の災害対応経験を伝えていただきました。

平成30年1月25日（木）午後2時から、熊本市政策局危機管理防災総室の本田主幹を講師にお招きして、「被災地職員（熊本市）の体験と教訓を伝える」をテーマに防災研修を実施しました。

講師からは、熊本地震での対応状況と、そこから見えた教訓・課題について、避難所関係、受援・ボランティア、情報管理、備蓄・支援物資等の分野ごとに体験を踏まえ、多くの現場写真を用いてご講演いただきました。

阪神・淡路大震災から20年以上が経過し、大規模な災害対応を実際に経験した職員が減少している中、体験に基づいた災害対応のお話には、今後の本市の参考となる事項が多くありました。



4 平成 30 年の抱負(危機管理安全局長 辻本ゆかり)

危機管理安全局は、市民の皆様の無事故・無災害に向けて全力で取り組みます。

「一、地震や水害が発生しても、被害を最小限に留められるよう、尼崎の防災力を高めます。」

「一、ひったくり、自転車盗難などの街頭犯罪を許しません。」

「一、子どもたちや高齢者など、市民が交通事故に遭わないよう、いろんな工夫をします。」

「一、安全に、気持ちよく自転車を利用できるよう、自転車マナーの向上に取り組みます。」

「一、悪徳商法や特殊詐欺の被害に遭う人を減らし、だまされない消費者を育てます。」

(尼崎市公式ホームページ「幹部職員の平成 30 年の抱負」から抜粋)

5 今年度も気仙沼市へ職員を派遣しています。

平成 29 年度派遣状況(平成 30 年 1 月 31 日現在)

気仙沼市 建設部都市計画課土地区画整理室: 2 名(土木職)

気仙沼市 建設部下水道課: 1 名(土木職)

派遣期間・・・平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

以上